

平成27年度第1回箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進検討会

議事要旨

日時 平成27年(2015年)8月6日 15:00～16:40

会場 委員会室(箕面市役所本館3階)

出席 【構成員】※敬称略

後藤 繁一((株)池田泉州銀行)

笹川 実千代(大阪青山大学)

須貝 昭子(NPO 法人市民活動フォーラムみのお)

藤井 栄治(箕面FMまちそだて(株))

松出 末生(箕面商工会議所)

広瀬 幸平(箕面市地域創造部)

【事務局】

箕面市地域創造部箕面営業室

株式会社三菱総合研究所

資料 配席表

次第

資料1 第1回推進検討会資料

資料2 実施事業一覧(平成26年度、平成27年度)

議事要旨

1. 構成員の紹介(略)

2. 座長選出

座長を松出氏、副座長を笹川氏に決定。

3. 資料説明

事務局より、資料1を説明し、意見交換を行った。

主な意見は以下のとおり。

●大阪府で策定中の戦略との整合性をどのようにとっていくのか。(構成員)

⇒勘案できる範囲で整合をとる。大阪府で行う人口ビジョンについては、市町村単位の数字は公表しない予定のため、大きく外れない限り問題ない。

一方で、本市の推計では、大阪府が考慮しない細かな設定を行うため、多少の乖離は発生しうる。(事務局)

- 目標の中に、林業があるが、本当に実現可能か。箕面市の場合、林業というよりも里山の環境保全の意味合いが強いのでは。(構成員)
⇒基本目標と施策の方向性の中には、施策の実現が難しいものもあるかもしれないが、最初から外すことはせず、多くの市民に役立つような施策であれば幅広く戦略に記載する。(事務局)
- 目標の中に、地域コミュニティの視点が盛り込めるとよい。(構成員)
⇒地域コミュニティの視点は、災害に強いまちづくり、子育て支援、多世代交流等の様々なところに関係するため、上手く取り入れるようにする。(事務局)
- 目標と施策の方向性が漠然としていると、読み手によってイメージするものが異なってくる。具体的なニーズの掘り起こしや既存施策の検証をしないと、目標と施策の方向性が離れた内容になってしまうのではないかと。(構成員)
⇒既に現在実施している施策の検証や今後の方向性の整理については、基本的に各部局室で行っているため、総合戦略としては、まずはそれらの方向性を総合的にまとめることを考えている。加えて、戦略に沿った新たな事業を追記するイメージとなる。何か全く新しい目標をもった計画を作成するというより、国の戦略に示されている目標分野に沿って、箕面市の総合計画の内容をミックスするような形で戦略を組み立てることを考えている。(事務局)
- 目標Ⅱ(2)と(3)は観光客を増やすという点では同じでは。(構成員)
⇒外国人観光客が日本全体で非常に増加してきており、ターゲットとして明確化するために項目のひとつに挙げている。(事務局)
- 箕面市は住宅地としてのブランドを確固たるものにして子育て世代を誘致するべき。「箕面市の公立教育はレベルが高い」と言われることを目指し、「学力の向上」を目標・施策を掲げてはどうか。(構成員)
「学力」を入れるのであれば、「体力」や「創造力」なども付けることでより具体的になる。(構成員)
⇒目標Ⅲの表現については現在使用しているキャッチフレーズの有無や、「学力向上」のような表現を含めることが可能か検討する。(事務局)

4. 交付金活用事業

事務局より、資料2を説明。

- ⇒具体的な事業を参考に、今回の戦略策定のイメージにつなげてもらいたい。
市民アイデア募集の結果についても、今後共有する。(事務局)

5. その他

本検討会は公開とする。

議事録は、構成員に確認のうえ、会議資料とともに公表する。

以 上